

アメリカから見た日米中関係

ハーバード大学名誉教授 エズラ・ヴォーゲル出版記念シンポジウム

日本時間 2021年

10/9 (土) AM 9:00~12:30

日米3カ所同時開催

・米国東部時間10月8日(金)(EDT) 8:00~11:30 p.m.

・米国太平洋時間10月8日(金)(PDT) 5:00~8:30 p.m.

・開催方法:オンライン開催(Zoomウェビナー方式)

◆使用言語:日本語、英語(同時通訳あり)

主催

愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)

共催:中日新聞社

ハーバード大学日米関係プログラム

★【開会の挨拶】

川井伸一

愛知大学理事長・学長

鈴木孝昌

中日新聞・東京新聞 取締役

クリスティーナ・L. デイビス

ハーバード大学日米関係プログラム所長

【ビデオ上映(10分)】

★【趣旨説明と解題】

李春利

愛知大学国際中国学研究センター所長

★【基調講演】

クリスティーナ・L. デイビス
(Christina L. Davis)

「東アジア貿易における競争と協力」
Competition and Cooperation
in East Asian Trade Policy

★【特別講演】

スティーヴン・K. ヴォーゲル
(Steven K. Vogel)

カリフォルニア大学パークレー校政治学部教授

「日米中マーケットデザインの比較研究」
Marketcraft in the US, Japan, and China

★【パネルディスカッション】

クリスティーナ・L. デイビス

スティーヴン・K. ヴォーゲル

鈴木孝昌

佐藤元彦

愛知大学国際問題研究所所長

モデレーター

李春利

【参加申込方法】:ICCSホームページにて

<https://iccs.aichi-u.ac.jp/event/entry-4808.html>



8/30
ICCS特別
記念出版



THE LAST LECTURE:
EZRA VOGEL ON CHINA AND JAPAN

EZRA F. VOGEL and CHUNLI LI

A Special Commemorative Publication
International Center for Chinese Studies, Aichi University

エズラ・ヴォーゲル講演録
『永遠の隣人: 日中の歴史から考えるアジアの未来』
『日中関係史』執筆の背景
日中交流、三つの時代
その一、600年からの遣隋使/その二、日清戦争終結後
その三、改革開放前後
2010年が転換点/『ジャパン・アズ・ナンバーワン』?
米中関係と貿易戦争/競争相手を必ずしも敵にする必要はない

エズラ・ヴォーゲル最後の授業 永遠の隣人



永遠の隣人

『ジャパン・アズ・ナンバーワン』(1979年)
70万部ベストセラーの著者、エズラ・ヴォーゲルが
日本(愛知大学)で行なった、生前最後の講演。

エズラ・F・ヴォーゲル 李春利(著)

愛知大学国際中国学研究センター 特別記念出版

『エズラ・ヴォーゲル最後の授業—永遠の隣人—』
(Ezra Vogel/傅高義)

ご購入・詳細は裏面へ

クリスティーナ・L. デイビス(Christina L. Davis)



ハーバード大学日米関係プログラム所長(エズラ・ヴォーゲル先生は初代所長)、政治学部教授。
*Japanese Journal of Political Science*共同編集長。ハーバード大学で東アジア研究の学士号、政治学
博士号を取得、エズラ・ヴォーゲル教授に師事。プリンストン大学政治学部及びウッドロウ・ウィルソン公共政
策スクール教授(2002~2018年)を歴任。

専門は国際政治、貿易政策。日本と東アジアにおける政治及び外交政策、貿易政策を中心とした国際
的な枠組みに関する研究を行い、現在、国際的な枠組みへの加盟、脱退に関する政治をテーマにした著
書を執筆し、進化する貿易秩序に関する調査を行っている。

主著に、*Why Adjudicate? Enforcing Trade Rules in the WTO*. Princeton University Press,
2012. (世界国際関係学会<ISA>International Law Book Award、大平正芳記念賞受賞)。 *Food Fights
Over Free Trade: How International Institutions Promote Agricultural Trade Liberalization*.
Princeton University Press, 2003.

スティーヴン・K. ヴォーゲル(Steven K. Vogel)



カリフォルニア大学バークレー校政治学部教授、同校の政治経済プログラム学科長、エズラ・ヴォーゲ
ル先生の令息。プリンストン大学卒業、カリフォルニア大学バークレー校でPh.D.取得(政治学)。専門は先
進工業国、特に日本の政治経済。カリフォルニア大学アーバイン校、ハーバード大学などで教鞭を執った
のち現職。2018年に日本研究への貢献で外務大臣表彰を受賞。

邦訳された著書に、『規則大国日本のジレンマ改革はいかになされるか』(岡部曜子訳、東洋経済新
報社、1997年、大平正芳記念賞受賞)などがある。最近の著書『日本経済のマーケットデザイン』(上原裕
美子訳、日本経済新聞出版社、2018年)はOxford University Pressから刊行されたMARKETCRAFT-
*How Governments Make Markets Work*の翻訳。これまで経済において「自由市場」と「規制」は対立
するものと考えられてきたが、現実には規制のない市場はなく、市場は多くの規制によってデザインされ
たものであるとユニークな視点を提唱している。

鈴木孝昌(すずき・たかよし Takayoshi Suzuki)



中日新聞・東京新聞取締役。前編集局長、元香港支局長・中国総局長。早稲田大学第一文学
部卒。1985年中日新聞入社、経済部記者としてトヨタなどの自動車産業を取材。社会部記者として
東日本大震災、太平洋戦争史等取材。96年から2009年に香港、北京特派員を計3回務め、香港
返還や鄧小平死去、アジア通貨危機、SARS大流行、北京五輪、四川大地震などを取材した。経済
部長、東海本社編集局長、名古屋本社編集局長を歴任し、今年6月から現職。著書に『胡錦濤の対
日政策』(日本橋報社)、『現代中国の禁書』(講談社)がある。

佐藤元彦(さとう・もとひこ Motohiko Sato)



愛知大学国際問題研究所所長、経済学部教授・大学院経済学研究科教授。同第16代学長・理
事長、「世界青年の船(SWY)」指導官などを歴任。主な著・訳書に、『脱貧困のための国際開発論』
(築地書館、2002年)、スーザン・ストレンジ『国家と市場ー国際政治経済学入門』(ちくま学芸文庫、
2020年)[西川潤氏と共同]など。専門分野は国際開発論、国際政治経済学。

李春利(り・しゅんり Chunli Li)



愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)所長、経済学部教授・大学院中国研究科教授。
中国遼寧省生まれ。中国社会科学院大学院、京都大学を経て、1996年に東京大学にて経済学
博士号を取得。ハーバード大学上級研究員(fellow)、MIT 国際自動車研究プログラム(IMVP)兼
任研究員、浙江大學講座教授などを歴任。国際ビジネス研究学会賞、日本経営史学会賞受賞。専
門分野は中国経済論、国際産業論及び環境・交通経済論。

『エズラ・ヴォーゲル最後の授業ー永遠の隣人ー』

The Last Lecture: Ezra Vogel on China and Japan

著者：エズラ・F・ヴォーゲル 李春利

発行：株式会社あるむ ISBN:978-86333-177-8 C0036



【ICCS書籍紹介ページ】

<https://iccs.aichi-u.ac.jp/book/entry-4810.html>

